

宇都宮市 学校 情報教育 だより

～ 学校で情報機器を活用するためのヒントや授業実践例などを紹介していきます。 ～

＝ 学校における全ての教育活動で、情報モラル教育を・・・＝

宇都宮市では、平成21年2月に、原則として小中学生に携帯電話を持たせない方針を柱にした「宮っ子すくすくノーケータイプラン（携帯電話等の使用に係る問題対策指針）」を策定し、様々な取組を進めてきました。一方で、将来において情報社会で生きていく子どもたちにとっては、小中学校のうちから携帯電話の利用を含めた情報モラル教育を、学校生活のあらゆる場面で実践していく必要があるとの考えから、平成22年4月に「宇都宮市情報モラル教育年間指導計画」を策定し、市内全小中学校での体系的・系統的・標準的な取組を推奨しているところです。

小学校で平成23年度から、中学校で平成24年度から完全実施された新学習指導要領の総則においても、「学校における全ての教育活動で情報モラルを指導しなければならないこと」や「全ての児童生徒が卒業の時点で情報モラルの習得を完了していなければならないこと」が示されています。

小学校総則の本文→「・・・コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け・・・」

中学校総則の本文→「・・・各教科等の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身に付け・・・」

具体的な指導時間としては、①「朝の会や帰りの会、学年集会」、②「各教科の中で」、③「学級活動や道徳」等が考えられます。指導すべきタイミングをうまくとらえて、その時その時に応じた内容を指導したり繰り返して指導したりすることが大切です。

今回は、特に、①「朝の会や帰りの会、学年集会」に短時間でを行う情報モラルの指導について取り上げます。

指導時間

- ・15分程度（朝の会・朝の学習・朝会・学年集会・帰りの会など）

活用教材

栃木県総合教育センター「子どもたちがネットトラブルにあわないために」

- ・「教師用」「児童生徒用」のページを見開きで配置しており、A4印刷してすぐに配布できます。

スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル オンライン」

・インターネット（Webブラウザ）を通してソフトを利用するWebシステムです。これまでは、本ソフトを利用するためには、インストールCDを用いてコンポーネントをインストールする必要がありました。しかし、平成25年3月13日（水）以降は、教職員用パソコンへ自動的にコンポーネントがインストールされ、デスクトップに本ソフトの起動アイコンが表示されます。  そのため、インターネットに接続した教職員用パソコンであれば、すぐに本ソフトを活用できるようになります。

・テーマごとに28本の動画教材を用意。教育情報システムログイン後TOPページ→「Webカリキュラムセンター」→「宇都宮市情報モラル教育年間指導計画」→「キーシーン  」にある動画教材のキーシーンを印刷して紙芝居のように使用することで、指導時間の短縮を図ることもできます。



「中学2年 7月 出会い系サイトの危険性を知る」キーシーン

新聞の切り抜き等

- ・社会的な事件や学級内で問題が起こった際に、短い時間で具体的な指導をすることができます。



□ 約束やきまりを守る

〈朝の活動 15分〉 岡本小学校 1年(11月)



パソコンを使うときの3つの約束について、動画教材(スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」)を視聴し、なぜその約束が必要なのかを児童に考えさせな

がら確認をしていきました。

パソコンを所有している家庭も多く、それぞれの家庭ですでに約束を決めて使用している家庭も多くありました。

短時間であったことと動画がとても分かりやすかったこともあり、児童は興味をもって取り組むことができ、約束を守ろうとする意識が高まったと思います。

□ 間違った情報もあることを知る

〈朝の活動 15分〉 御幸小学校 4年(11月)



インターネットの使い方について、スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」の動画を利用して、学習しました。

子どもたちは、動画の流れに沿って、まずウソの情報に興味を示し、その後に出てくる解説を聞きながら、インターネット上の情報を安易に信じてはいけないということを、無理なく短時間で学ぶことができました。

動画教材をそのまま視聴させるのではなく、ストーリーをアレンジしたり、途中で動画を止めて説明をしたりすることで、児童の興味関心を引き出すことができました。

動画教材をそのまま視聴させるのではなく、ストーリーをアレンジしたり、途中で動画を止めて説明をしたりすることで、児童の興味関心を引き出すことができました。

□ 個人情報を守らない(自分)

〈朝の活動 15分〉 西小学校 5年(12月)



個人情報が知られるとどうして危険なのか、動画教材(スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」)を視聴し、考えさせました。

導入ストーリーや疑似

体験をもとに、短時間で、個人情報が知られると迷惑メールやダイレクトメールが届いたり、詐欺などの犯罪に巻き込まれたりする可能性があることを理解させることができました。児童は、一度個人情報を知られてしまうとリセットできないことに気付き、「必要のない情報は書き込まない」ことが大切であることを認識することができました。

□ 携帯電話を使うときのルールやマナーを身につける

〈朝の学活 15分〉 田原中学校 1年(12月)



携帯電話を使うときのルールとマナーについて、スズキ教育ソフト「あんしん・あんぜん情報モラル」のキーシーンデータをダウンロードし、紙芝居形式で黒板に掲示

し、説明を行いました。

短時間の朝の会でも、生徒は関心をもってストーリーに聞き入り、携帯の危険性について考えることができました。

紙芝居形式であれば、キーシーンを印刷するだけで手軽に行えるので、学校・学級内でトラブル等があったときに、すぐに指導できる利便性を感じました。

□ チェーンメールの仕組みを知り、受け取ったときの対処法を知る

〈学年朝会 15分〉 晃陽中学校 1年(1月)



迷惑メールについて、教育情報システム内「Webカリキュラムセンター」にある「情報モラル教育年間指導計画」のページから動画教材(スズキ教育ソフト)のキーシーンを

ダウンロードし、大型テレビに映して説明を行いました。

キーシーンを紙芝居のように利用することで、短時間でも分かりやすく、迷惑メールの仕組みや落とし穴・対処法などを、教えることができました。生徒は、迷惑メールに対し配信不要というメールを返信してしまうことで個人情報などが漏れてしまうことなどを知り、とても驚いていました。

□ 電子メールを利用した詐欺について考える

〈朝の学活 15分〉 城山中学校 3年(1月)



電子メールを利用した詐欺について、動画教材(スズキ教育ソフト)のキーシーンを大型プリンタで拡大印刷したものを黒板に掲示し、説明を行いました。

拡大印刷したものを事前に用意したことで、朝の短い時間でも効率的に、不当請求等の電子メールを利用した詐欺について考えさせることができました。生徒は、「知らない人から送られてきたメールのリンクを興味本位でクリックしない」、「詐欺だと思ったら周りの大人に相談する」ことの重要性を理解することができました。